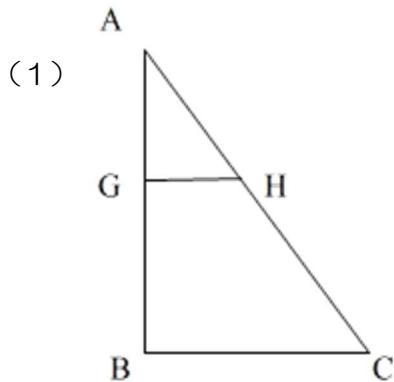


算数オンライン塾 4月 25 日の問題 解説



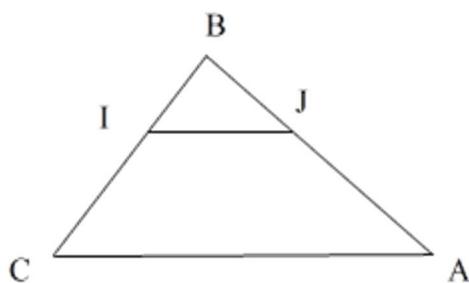
最初の水面の高さが $5\frac{1}{3}$ cm だから、 $AG = \frac{8}{3}$ cm だから、 $AB : AG = 3 : 1$ より、

三角形 AGH : 三角形 ABC = 1 × 1 : 3 × 3 = 1 : 9

したがって面 ABC を底面としたときの高さは $15 ÷ 9 × (9 - 1) = 13\frac{1}{3}$ cm

(答え) $13\frac{1}{3}$ cm

(2)



B から AC に降ろした垂線の長さは $CB × \frac{4}{5} = 4.8$ cm

三角形 IBJ と三角形 ABC = 1 : 9 より高さの比は 1 : 3 から水面の高さはその $\frac{2}{3}$

$4.8 × \frac{2}{3} = 3.2$ cm

(答え) 3.2cm